

# ほっぴ・ステップ・JUMP!

(保つ父) 1992・6・9

VOL. 14 発行 北海道の子どもと保父の会

## <5月の例会報告>

「溪流荘」での総会以来、久し振りに集まったのは六人でした。今回より会場として使わせてもらう、「かでる2・7」は吹き抜けのあるとても立派な建物で、例会以外にもどんどん活用したくなるものでした。

議題として挙がっていたのは、例会の時期の検討と、各係の仕事の進行具合の報告とアイデア出しの二点でした。

一点目については、当初例会は奇数月に行う事になっていたのですが、七・九・十一月と会長の小田氏が仕事等の都合で来られない事や、総会が二月なのでちょうど二か月おきになり忙しい三月を避けられる事などを理由に、偶数月に変更し、六月から行う事としました（具体的な中身は別枠参照）。それに伴い新聞の発行も偶数月のはじめに発行する事となります。

二点目の各係の仕事状況については、「調査」は、集まって話しはしていないものの、やるのならばきちんとしたものを作りたい、以前の調査のようにどこかの団体とタイアップする形でやれたら…、という事でした。「例会」は担当の考えと出席者の意見を出しあって、当面十二月までの内容を決めました。「レク」は集まりは無いものの、サッカーやマラソンの参加、キャンプの講習会を行う等、具体的ではないが、日曜日の午前中を使って何かやりたいという事が出ていました。

あとは、参加者の近況等について話しがあり、船山氏から今保育の仕事を離れ（現在、造園業）、猛烈にこの仕事をしたい気持ちになっていることや、資格・就職の話し等、いろいろな話しが九時ぎりぎりまでおこなわれました。

文責 桑原

「風に吹かれて」 保父修行物語

その十四

光星はとポツポ保育園 船戸 敬悦

春のあたたかい日ざしを浴びながら私は井之頭公演を歩いていった。春の新芽もポツポツと、花開く時をいまかいまかと待っているかのようだった。大阪を出てやっと東京のアパートに荷物を運び込む作業が終わったところだった。F先生の御好意で、有名な井之頭保育園で実践出来るという期待と、反面、不安な気持ちが入りまざっていた。公園のベンチにこしをかけ、池の水面をみていると、大阪の仲間や、今福保育園を卒園していった子ども達の顔が波間に見え隠れする。「Tちゃんはどうしているだろう。園長先生をはじめみんなに。わがままいって 東京に来て。ゴメン」ちよっぴりセンチメンタ

ルになってしまっていた。大阪から東京へ：春のあたたかい東の風に吹かれて、今私は花の東京にいる。若者の街と呼ばれる吉祥寺に住み、まわりは豪邸やマンションの建ち並ぶ住宅地だった。自分には似合わないな！と思っていた。公園の散歩道を歩く女性に目がいく。「ゴツツ、エーカンジ！」話している言葉も、すがすがしさを感じるきれいな言葉。大阪弁にそまった私の身体の中を、カルチャーショックが走っていくのを感じていた。この街の井之頭保育園っていったいどんな保育園なんだろう。そして、どんな子ども達が待っていてくれるのだろうか？様々なことを考えながら石畳の階段をおりていくと、池の中ほどに、花びらのような水しぶきをあげている噴水が見えた。「どこかで見たような噴水だなあ。」そうだった。わすれもしないテレビドラマ「俺達の旅」のロケ地そのものだ

った。何もかにもが真新しかった。自分が子どもの気持ちのようにワクワクしているのを感じた。「さあやるぞ、あらたな一歩だ。井の中の蛙大海を知らずか。」保育の道の奥深さを少しづつ感じながら、自分に言いかけせるようにして、階段を一步一步上がっていくと、洒落た喫茶店が目についた。「宵待ち草」と書いてあった。私はコーヒーを注文した。そのコーヒーも真新しく思えておかしかった。私にとつてこの日が、東京修行の第一日目だった。

(次号につづく)

新

保父男くん k.



# 近況報告の

## コーナー

今回の近況報告のコーナーは、十三号でお伝えした福田剛氏に、親友であり、「ほつぷ・ステップ・JUMP」の編集委員である、石田朝武（つとむ）氏が電話インタビューをしてくれましたので、その内容を紹介します。

I「職場はどうですか？」

F「現在私が勤めている早来保育園は、早来町に三か所ある町立保育園のうちの一か所です。八十九名の子どもがいて、私は三才児クラス十名を受け持っています。同僚はみんな若くて（三年目一人、二年目一人、一年目一人、産休の人と私の五人が全職員）大変ですが、反面楽しんでやっています。」

I「はやっていることなんかありますか？」

F「園では、追いかけてこや水あそび、泥あそび、ごっこあそびなどです。」

I「園の話はこのくらいで、福田くんは早来町でどんな余暇を過ごしているんですか？ 楽しみは何？」

F「毎日会議で夜遅くなることが多いです（深夜になることも）。楽しみと言えば、若い美人の先生たちが一緒に働いている事と、Hなビデオでも見ながら一人さびしく飲んでいるか、早来町にたった一件のパチンコ屋さんに行く事くらいかな。」

I「早来町の印象は？」

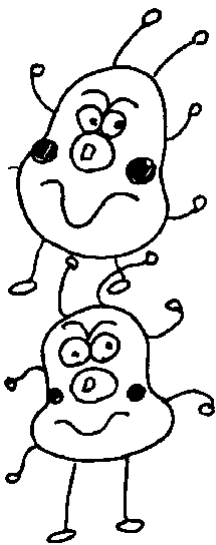
F「とにかくなんにもない所で、自然

がいっぱい、虫がいっぱい……。とてもいいところなので、みなさんも一度遊びに来てください。」

I「保父の会のみなさんに何か言いたいことがありますか？」

F「毎週末は札幌に帰ってきていますので、例会でもお目にかかれると思います。その時はよろしく！」

ちょっと疲れている感じの福田氏でしたが、やる気満々で頑張っているようでした。六月の例会にもたぶん行けるだろうという事でしたので、その時は愚痴でも聞いてあげましょう。



## 編集後記

六月に入り、ちよつと疲れぎみですが、そんな時、ふつと気持ちを和ませてくれる「ほつぷ・ステップ・JUMP」・・・、なんていう風になるといいなあ。さあ、がんばろー！  
K

福田君とは、なかなか福田君の仕事？などで連絡とれませんでした。福田君は早来町立保育園で一生懸命がんばっているようなので、福田君に負けられないで頑張りたいと思います。  
I

### 事務局

〒〇〇三 札幌市白石区北郷二条三丁目  
北白石保育園内

011・874・8222